



実践したプランの内容と成果 (実践したプランのだけ記入する内容です)

複数のプランを実践した場合にはプランの数だけ、ここから後の5つの表をコピーして記入してください
 必要に応じてセル(表の枠)の高さを調整していただいて構いません
 「★」は任意ですがそれ以外は極力埋めてください

記入日	西暦 2020 年 1 月 11 日 (2019 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	高知県立大方高等学校
実践番号 (団体内・年度内の通し番号)	1
タイトル 内容を端的に示し、中身を見たくなるタイトルをつけてください。計画時のタイトルと同じである必要はありません	保小中高合同避難訓練&交流会
実践担当者のお名前	浦田友香 野町純一

実践にかかった金額 チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか、選択肢から該当しないものを削除し該当するものを1つ残す	1000 円未満
実践の準備にかかった時間 期間ではなく合計時間を書いてください 例：月に1度、1時間程度3回集まった→3時間→数時間 該当しないものを削除し該当するものを1つ残す	数時間
実践活動を実施した日時 長期に渡る実践の場合には「時」や「分」を適宜削除してください	西暦 2019 年 5 月 15 日 9 時～11 時
実践の所要時間 期間ではなく合計時間を書いてください。 例：2 時間×2 日=4 時間	2 時間
実践の運営側で動いた人の人数	20 人
防災教育の対象者の属性 非運営側として参加した人の主な属性 該当しないものを削除し該当するものを残す (複数可)	保育園児・小学生(低学年)・小学生(高学年)・中学生・高校生・教職員/保育士等・防災関係者
防災教育の対象者の人数	約400人
実践を行った都道府県と市区町村	高知県幡多郡黒潮町
実践を行った具体的な場所 例：〇〇小学校体育館	錦野公園
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	



<p>達成目標</p> <p>社会的・地域的・時代的背景や実践の目的や何を達成しようとしたかを書いてください</p>	<p>・ 合同で避難訓練と交流会を行い、緊急時には協力できるよう、年齢の異なる子どもたち同士のつながり作りをする。</p>	
<p>どの力を身につけようとしたか？</p> <p><u>該当しないものを削除し該当するものを1つ残す</u></p>	<p>知識・技能</p>	<p>少し</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>少し</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p>実践内容・方法</p> <p>これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいで構いません</p>	<p>①事前準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本校の生徒防災委員会が、小学生から高校生が一緒に行えるレクリエーションについて考え、計画する。 <p>②避難訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園小学校中学校高校が一斉に高台にある避難所を目指して避難訓練を行う。高校生が保育園に向かい、園児の避難を手伝う。 <p>③交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生が司会を担当し、レクリエーションを行う。 ・ 小学生から高校生まで約 350 人で下の名前の「あ行」「か行」「さ行」…のグループに分かれる。 ・ 出題される防災クイズに、グループで考え、答える。 ・ 被災時に役に立つ紙一枚で作れる箱作りにグループで挑戦する。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
<p>得られた成果</p> <p>どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください</p>	<p>・ 毎年行っている近隣の保育園・小学校・中学校との合同避難訓練であるが、これまでは避難場所に避難するだけにとどまり、子どもたち同士の交流はなかった。今回は高校生が中心となり、限られた時間ではあるが子ども同士の交流ができた。</p>	



	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生にとっては、緊急時に自分たちが支えるべき存在が身近にいることを実感できる良い機会になった。 ・保育園・小学校・中学校・高校の間で、緊急時に協力できる関係を築く第一歩となった。 	
どのくらい身につきましたか？ 該当しないものを削除し該当するものを残す	知識・技能	少し
	思考力・判断力・表現力	かなり
	学びに向かう力・人間性	大いに
課題・苦労・工夫 やってみてわかった新たな課題, 苦労した点, 工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校から高校までの日程を合わせることは容易ではなかった。 ・幅広い年齢で協力できるレクリエーションを考えることは難しかった。 ・人数が多く、会場は狭かったため、煩雑な状態となった。レクリエーションの内容や実施方法については改善の余地があった。 	

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について

1つの実践事例に複数の関係者がいる場合には関係者の数だけ表をコピーして記入してください

関係者の名前・団体名	
関係者の説明	
関係者の連絡先	

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ

1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください

伝えたい相手	防災教育に取り組む高等学校の方々
伝えたい内容	今回の活動を通して、自分より年少の子どもたちの前では、高校生が普段は見せないリーダーシップや責任感を発揮することを学びました。